

## 蓄冷材取扱い注意事項

### 事前の凍結処理

- ・蓄冷材は、**冷凍庫内にフクチンがない状態**で冷凍庫に投入し**あらかじめ-60~-80℃で凍結させておく。【60時間以上】**
- ・常温の蓄冷剤を凍結させるには冷凍庫の温度が下がり切るまでに2日間ほど時間を要しますので**警報がなります**。一時的に警報音を止めるなどの対処をお願いします。

※UD-80W74NFをお使いの場合、一度警報音を止めていただくと警報の設定値(-60℃)を下回り、警報が解除されるまで繰り返し発報することはありません。警報は設定値を下回ると自動で解除されます。

- ・蓄冷剤の中身は、無害ですが食べられませんのでご注意ください。
- ・蓄冷剤を冷凍庫内に大量に入れた場合は、庫内の温度が一時的に上がり温度や機器異常警報を搭載の冷凍庫では、警報がなる場合がございます。
- ・凍結された蓄冷剤を触る時は、手袋等を御使用下さい。凍傷の恐れがございます。
- ・蓄冷剤の廃棄時は、各自治体の指示に従って御処分下さい。  
(袋は、プラスチックゴミ、中身は生ゴミとして処理出来ます。)
- ・高温や直射日光にあたる場所では、保管しないで下さい。

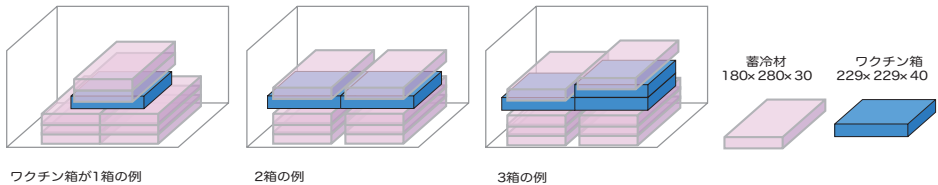
# 蓄冷材の凍結処理とワクチン保管設置について

## 停電・故障時対応のためのバックアップ蓄冷材の設置

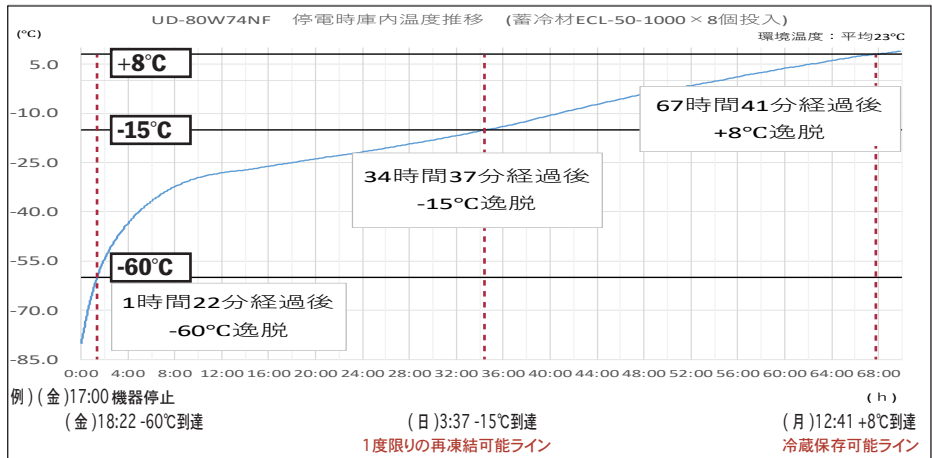
### ワクチン箱の保管

- ・ワクチン箱を冷凍庫に収納する際には、  
凍結した蓄冷材をワクチン箱の下に2列×3段、ワクチン箱の上に2個を設置する。

### 蓄冷剤同梱方法



### 蓄冷剤同梱時の機器停止試験結果 (外気温+23℃時での参考データとなります。ご使用環境により温度推移は異なります。)



### 他社メーカー様のファイザー社用ワクチン冷凍庫にも対応しております。

- ・PHC社様、日本フリーザー社様、カノウ冷機社様のファイザーワクチン用冷凍庫においても各社様のご協力のもと、同蓄冷剤運用試験を行なって頂き、同様の保冷効果が得られております。※厚生労働省様ホームページも合わせてご参照ください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000768526.pdf>



#### 免責事項

収納物の保証につきましては、いかなる状況でありましても対象となりませんので、ご了承下さい。  
また、本製品ご使用による保管庫故障修理対応につきましては保管庫の無償修理対象外となります。